

WHO ファクトシート

下痢性疾患

Diarrhoeal disease

2017 年 5 月

重要な事実

- ・下痢性疾患は 5 歳未満の子どもの死因の第 2 位であるが、それは予防も治療も可能である。
- ・下痢により毎年 525,000 人の 5 歳未満の子どもが死亡している。
- ・安全な飲み水、適切な衛生設備と衛生管理により、下痢性疾患のかなり多くを予防することができる。
- ・世界では、毎年およそ 17 億人が下痢性疾患に罹っている。
- ・下痢は、5 歳未満の子どもにとって栄養不良を引き起こす最大の原因である。

© World Health Organization

この文章は、日本 WHO 協会が WHO のメディアセンターより発信されているファクトシートのキーファクト部分について、2014 年 3 月に WHO 本部より付与された翻訳権に基づき作成したものです。

ファクトシートには、訳出部分以外にも当該案件に関する基本的情報や詳細情報へのリンク先などが示されていますし、また最新事情に合わせて頻繁に見直しが行われますので、更新日時の確認を含め WHO ホームページでの原文をご確認ください。

Diarrhoeal disease ファクトシート原文は [こちら](#)